

9月22日(金) 10:00~12:00

野外講座

### 宣長を取り巻く女性たち

本居宣長という小さい頃から秀才だったと思われませんが、実はダメ坊ちゃん、松阪商人の家に生まれましたが、商才はなく、どうしようかと迷った時に母の後押しで医者になるために、京都へ遊学しました。この時宣長さん33歳、医者としては腕が良かったようで死ぬまで家業として医師を続けていました。妻の勝もまた偉かった。何十年もかかって和歌や古事記、源氏物語の研究に没頭した宣長を支え続けたと言います。本居家は女性が多く宣長には3人の妹、3人の娘がいました。しかし弟子は男性が多く女性は僅かでしたが、個性あふれる人たちがばかり、展示を見ながらじっくりとお話を伺いましょう。



(本居宣長記念館蔵)

参加費 会員 1,700円 ビジター 2,200円 (入館料含む)

講師 井田 もも 本居宣長記念館学芸員

場所 9:55に本居宣長記念館集合

9月24日(日) 11:00~13:30

野外講座

### 秋から冬にかけての薬膳料理

今回は高木先生が教授をされている鈴鹿医療科学大学について、ランチを楽しむと同時に三因制宜に基づき薬膳の基礎と秋冬の一般的な食養生のお話を伺います。三因制宜とは人の体は時、地、人の3つで左右されるとの考え方です。この頃気候不順が続き、温度差の激しさに体がついてゆけなくて疲れやすくなったり、体調不良や自律神経失調に陥る方がたくさんいます。本当の病気になる前に体調を修復する「食育」についてお話いただけます。ランチは秋から冬にかけての薬膳をいただきます。



参加費 会員 4,500円 ビジター 5,000円 (高木先生考案の薬膳料理付き)

講師 高木 久代 鈴鹿医療科学大学副学長・保健衛生学部教授・日本薬膳学会代表理事

場所 10:55に鈴鹿医療科学大学集合 (行き方が不明の場合はお問い合わせください)

11月28日(火) 10:00~13:30

野外体験講座

### 紅葉のお寺で坐禅体験

玉城町にある廣泰寺さんは塾の講師をしていただいている多田寛道先生が住職をされているお寺です。禅宗のお寺なので、昔から坐禅を組む方々がたくさん訪れられていたそうです。今回ちょっと無理を言って坐禅の講座をお願いしました。廣泰寺は500年以上前に大空玄虎禅師という曹洞宗の高僧が開いた寺院です。江戸時代には紀伊徳川家の帰依が深く、寺勢は盛んであったようです。山門は町の文化財、庭は四季折々に風情があります。廣泰寺の歴史などを伺った後に坐禅を組んで姿勢を正し、精神を統一いたしましょう。坐るのは苦手の方は椅子でも大丈夫です。体験後は「野の花亭」でランチをいただきます。 (坐禅しやすい服装でお越しください)



参加費 会員 3,600円 ビジター 4,100円 (体験料・昼食代含む)

講師 多田 寛道 皇學館大学文学部教授・曹洞宗神照山廣泰寺住職・博士(文学)

場所 9:55に廣泰寺集合(度会郡玉城町古1277) 玉城ICより車で約3分

11月30日(木) 10:00~15:00

野外講座

### 奈良興福寺を味わい尽くす

興福寺の建物や仏様の素晴らしさを2回にわたり瀧川先生に熱く語っていただきましたが、ついに現地でも有名な仏様に会えるのです。近鉄奈良駅に集合していただいて徒歩10分、国宝の五重塔、三重塔、東金堂、南円堂、八角円堂として最も美しいとされる北円堂などなど、ワクワクするほどの建物とその中におわす仏様たち、そしてあの阿修羅さまをはじめとする国宝級の仏様がずらりと並ぶ国宝館などをじっくりと拝観します。食事の後は教科書などでしかみたくもない正倉院の高床式校倉造りを実感いたします。



参加費 会員 10,500円 ビジター 11,500円 (拝観料・昼食代・保険料含む)

講師 瀧川 和也 三重県総合博物館調査・資料情報課課長(学芸員)

場所 10:00に近鉄奈良駅前集合 定員 15名限定 (場所が不明な場合はお問い合わせください)

### 受講のご案内

#### 【お申込み】

- ★申込受付時間は9:00~17:00です。お一人様、何講座でも受講いただけます。
- ★原則として予約制ですが、当日でも定員に達していなければ受講できます。(事前にお問い合わせください)

#### 【お申込み方法】

- ①五十鈴塾事務局の窓口 ②電話・FAX
- ③五十鈴塾ホームページ(インターネット)

#### 【参加費】

- ★当日、受付にてお支払いください。
- ★現金または振込み(手数料は入金者負担)でお支払いください。

- ※「定員」の記載がない講座は定員20名です。
- ※各講座とも定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。
- ※講座申込者が10名に満たない場合は中止させていただきます。
- ※講師の都合、その他により講座内容等を変更になる場合があります。
- ※お申込みの講座をキャンセルされる場合は、当塾のキャンセルポリシーに基づきキャンセル料が発生いたします。お申込みの際にご確認ください。

### 会員募集中

#### 入会のご案内

ご入会いただくと、五十鈴塾の会員としてさまざまな特典を受けられます。

#### 五十鈴塾会員

年会費 5,000円

#### 賛助会員

個人会員年会費 1口 10,000円  
法人会員年会費 10口~ 100,000円~



公益財団法人伊勢文化会議所 五十鈴塾事務局  
〒516-0026 三重県伊勢市宇治浦田1丁目5番3号

TEL 0596-20-8251 FAX 0596-20-8253

五十鈴塾 検索

五十鈴塾のホームページで講座内容の詳細や満席情報などをご覧いただけます。



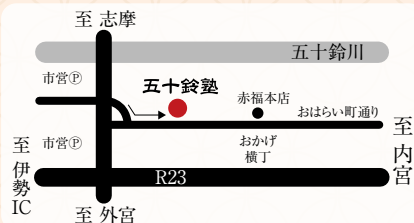
五十鈴塾HP



五十鈴塾 Instagram  
@isuzujuku



五十鈴塾 Facebook  
@isuzujuku



五十鈴塾まで...  
市営駐車場からは、地下道を通って出口から約120mです。

駐車場はございません。  
近隣の有料駐車場が公共交通機関をご利用ください。



# 暮らっしゅく日本 五十鈴塾

講座のご案内

9月~11月  
令和5(2023)年

五十鈴塾は日本の暮らしにある心地よさを体験し

「かけがえのないもの」を見つける

お手伝いをしたいと願っています。



## 神崎宣武塾長 特別講座

神崎 宣武 民俗学者・神崎研究室室長

9月28日(木) 18:30~20:00

オンライン同時中継

日本のしきたりの何故を知る①  
やおよろず  
「八百万の神々」を祀る~宗教にあらざるアニミズムの伝承と行事のしきたり~  
日本人のしきたり第1回目は、やはり神様から始めるのが順当です。戦国時代キリスト教を広めるために日本に来た宣教師たちが驚いたのは自然界のいろんなもの、山・川・海・木々・動物などあらゆるものに神が宿っているという信仰だったそうです。アニミズムという原始宗教の形態が、日本の場合いまでも色濃く残っています。自然を尊び、敬い、傷つけないように大切に守ってきた暮らしが変わり始めたのは、この50年。人間の力を過信し、より豊かさを求め続けて、自然を顧みなくなった結果が地球温暖化です。もう一度自然への謙虚さを取り戻すために、神々を祀るしきたりに秘められた「なぜ」を考えてみたいと思います。

参加費 会員 1,200円 ビジター 1,700円

9月29日(金) 13:30~15:00

オンライン同時中継

### 日本人の食文化 秋編

今日は旧暦の十五夜、元々は月を神と崇めて捧げものをし、豊作を祈るものだったようです。お供え物は主食だった里芋でしたが、次第に米に取って代われ月見団子になりました。一方、月そのものを愛で、詩歌管弦を楽しむ観月会も平安時代から行われていましたので、次第に融合してお月見は文字通り美しい月を楽しむ行事になっていきました。昔ながらの月祭りが残っているのは十三夜です。豆名月、栗名月と呼ばれ、秋の収穫を祝う行事です。月一つとっても変遷をくりかえしてきた日本人の食、今回は秋にちなんだお話です

参加費 会員 1,200円 ビジター 1,700円

## 10月9日(月・祝)開催!「遷宮フォーラム~式年遷宮まで10年~」の特別企画講座

10月10日(火) 13:00~16:00

野外講座 遷宮フォーラム企画講座

### 倭姫宮と神宮関係の施設巡り

倭姫宮が創建されてから今年で100年目、11月5日の例大祭は規模を拡大して行われる予定です。神崎塾長と共に倭姫様の足跡を辿っての野外講座を長年開催してきた五十鈴塾としては1か月前ではありますが、倭姫様に敬意を表して皆様と一緒に御参りをし、改めて塾長のお話を聞こうと企画しました。宮の鎮座する倉田山には神宮徴古館、神宮美術館という神宮関係の施設の他に皇學館大学の神道博物館もあります。普段見る機会がない貴重な品々が展示されていますので、塾長と一緒にゆっくりと鑑賞いたしましょう。

参加費 会員 2,000円 ビジター 2,500円 (入館料含む)

場所 13:00に倭姫宮集合

講師 神崎 宣武 民俗学者・神崎研究室室長

10月17日(火) 13:30~15:00

遷宮フォーラム企画講座

### 遷宮諸祭について

第63回遷宮は令和15年、あと10年後ですが令和7年には遷宮の諸々のお祭りがはじまります。5月に山口祭と木本祭、6月には木曾の御杉山で御用材を伐り出すにあたっての御杉始祭、御神体をお納めする御樋代木奉曳式、御船代祭を経て令和8年御木曳初式がおこなわれます。御造営を始めるにあたっての作業の安全を祈る木造始祭、そしていよいよ第一次の御木曳行事になります。あともう3年、「ご遷宮って何?」と聞かれる機会も増えることでしょう。「それはね」と説明できるのもちょっと嬉しいのでは?

参加費 会員 900円 ビジター 1,400円

講師 千種 清美 文筆家・皇學館大学非常勤講師

11月13日(月) 13:30~15:00

遷宮フォーラム企画講座

### 式年遷宮の歴史

持統天皇4年(690)に第一回が斎行されてから、平成25年(2013)まで、実に1300年以上、62回にわたって続けられてきた式年遷宮も、あと10年後に第63回を迎えます。そこでこの機会に、  
①式年遷宮のはじまり、 ②南北朝時代における遅滞、  
③戦国時代における中絶、 ④安土・桃山時代における復興  
といった歴史を振り返りつつ、この1300年の歴史の重みを、皆さんと一緒に感じてみたいと思います。

参加費 会員 900円 ビジター 1,400円

講師 岡野 友彦 皇學館大学文学部長



**9月14日(木) 13:30～15:00** **企画講座**

## 倭姫命の御巡幸地を訪ねて その7 ～近世における倭姫命奉祀～

大正12年11月5日、倭姫宮が倉田山の地に御鎮座して今年で100周年を迎えました。14所ある別宮の中で、創祀されたのは極めて新しく、それまでは倭姫命を奉祀したお社は無かったのか、と疑問を呈す人もおられるようです。江戸時代初期の『二所太神宮参拜儀式』に逢拝として、摂社16座等と共に「倭姫社」の名前がみられ、外宮域外にお祀りされていたことが理解できます。そしてその奥書によると、少なくとも室町時代中期には、倭姫命をお祀りするお社が神都に存在したと考えられます。近世初期までの旧街道は小田橋を渡り、すぐ左に曲がり御贄川(勢田川)沿いを北上、贄子橋の横を折れ(現在の錦水湯前)(現在の錦水湯前、岡崎宮(妙見大菩薩)の南の細い道から岡岡遺跡前に進み、尾部御陵前に出て、古市街道に至る道が古代の外宮・内宮間の街道であったと思われる、今回は旧街道についても解説いたします。

参加費 **会員 900円** **ビジター 1,400円**

講師 **音羽 悟** 神宮司庁広報室広報課次長

**9月20日(水) 13:30～15:30** **企画講座**

## 煎茶講座 ～菊の節句とすすり茶～

9月9日は重陽の節句、他の節句に比べて存在感がないので「何それ」といわれますが、菊の節句なのです。菊は桜と並んで日本の国花、菊を飾って藤原先生に菊にちなんだお話を伺います。お煎茶はちよっと珍しいすすり茶の体験です。蓋つきのお茶碗に茶葉を入れ、少し待ってから蓋をずらして飲むのですが、これが絶品! 見た目には普通のお茶ですが、一口含むと豊潤な香りと適度の甘さに感覚のすべてが味覚に凝縮され、体中がゆったりと溶けてゆくようです。お茶とはこんなに美味しいものであったかを再認識していただける講座です。

参加費 **会員 2,000円** **ビジター 2,500円** (お茶・お菓子代含む) **定員 15名限定**

講師 **藤原 和美** 皇風煎茶禮式師範 **・杉山 理** 皇風煎茶禮式準総師範



**9月26日(火) 13:30～15:30** **企画講座**

## 身体の声を聴こう ～楽に座る・楽に立つ～

昨年企画し好評の欠塚先生の健康講座。今回のテーマは「楽に座る」「楽に立つ」です。座り方や立ち方は人それぞれ癖があり、いつも同じような姿勢になっています。気付かずに同じ姿勢で過ごしていると、知らず知らずのうちに負担を強いている場所に痛みが出ます。これが腰痛や肩こりです。レッスンの中では「楽に」座る・立つために全身を上手に使うことが重要かを体感していただける内容となっています。普段はしない非習慣的な動きをじっくり行うことで凝り固まった動きの癖を手放し、生活の基本となる姿勢を整えていきましょう!(ご要望があれば個別にアドバイスを受けられます) ※当日は、動きやすい服装でお越しください。床に寝て行なうレッスンを含みます。

参加費 **会員 1,000円** **ビジター 1,500円** **定員 15名限定**

場所 **欠塚 優希** フェニックス健診クリニック作業療法士・コンディショニングトレーナー

**10月5日(木) 18:30～20:00** **体験講座**

## 気軽に抹茶を楽しもう

「茶道や抹茶に興味はあるけど格式が高い…」と感じている方におすすめの体験講座。「家で抹茶を楽しみたいけど道具はどうすればいい?」「お菓子ってどうやって食べるの?」「茶室でお茶が飲めるみたいだけとお作法は…?」など、ちょっとした疑問や呈茶を楽しむコツなどを気軽に教えていただけます。実際にお茶を点ててみて、みんなでお抹茶と季節の和菓子を楽しみながら、先生からアレコレ聞きましょう。初心者の方大歓迎! ぜひお気軽にお申込みください。

参加費 **会員 1,500円** **ビジター 2,000円** (お茶・お菓子代含む)

講師 **瀬古 宗恵** 茶道裏千家準教授 **・北村 宗美** 茶道裏千家専任講師

**10月12日(木) 13:30～15:00** **企画講座**

## お箸の国のスローフード

「スローフード」という言葉をご存知でしょうか。地元のお伝統食や調味料を見直そうというイタリアの社会運動が発祥です。それを日本でわたしたちの暮らしに落とし込むとどうなるでしょうか。ゆでてすぐに食べられる伊勢うどんはファストフード? 伊勢独自の調味料って? 朝熊小菜が危機? 三重県で20年以上にわたり、ローカル情報誌を発行してきた編集長が、じっくりつくられる食の大切さについて語ります。

参加費 **会員 900円** **ビジター 1,400円**

講師 **坂 美幸** 三重の季刊誌「NAGI」編集長



**10月18日(水) 18:30～20:30** **企画講座**

## 「菊合香」を楽しむ

9月9日の重陽の節句は「菊の節句」ともいわれ、旧暦では今年10月23日にあたります。それにちなんで、今回は「菊合香」を楽しんでいただけます。古代中国では菊は邪気を祓い長生きする効能があると信じられ、日本では「重陽の節句」に、菊に関する歌合せや観賞する宴が催され、不老長寿を祈ったのです。「菊合香」は野菊・黄菊・白菊そして菊慈童、いずれが見事か競い合う菊合せの組香です。心地よい香木の香りを愛でて、心身ともにゆるりとしてみませんか? 初心者の方も大歓迎です。

参加費 **会員 5,400円** **ビジター 5,900円** (香庭料・食事代・お菓子代含む)

講師 **東 堯霞** 香道御家流三條西宗家直門師範



**10月27日(金) 13:30～15:00** **企画講座**

## 人に好かれる話し方

読む、語る、ほざく、愚痴る…人が言葉を発するには何らかの意味があります。独り言ですら、近くの誰かに聞こえるように口にすることもあります。誰かに伝えようとして発する言葉。自分の思いを整理して言葉にすることは脳の活性化を促します。また明るい声をイメージした正しい発声は口元の老化も防ぎます。声の大きさや話す速度をどのようにすれば自分の思いが相手に伝わりやすくなるのか。中京テレビ、FM三重でのアナウンサー歴約40年の瀧さんが、仕事上経験したエピソードの他、共通語のアクセントやイントネーションについて、日常会話にも活かせる発声・発音、おしゃべりのコツなどをお話します。

参加費 **会員 950円** **ビジター 1,450円**

講師 **瀧 裕司** フリーアナウンサー・ディレクター



**10月30日(月) 13:30～15:00** **企画講座**

## 青春期の乱歩と鳥羽

江戸川乱歩は、大正6年・鳥羽造船所(現在のシンフォニアテクノロジー(株))に入社し社内誌の創刊・編集を任せられます。乱歩は鳥羽で1年3ヶ月を暮らし、生涯の伴侶・村山隆子(坂手島出身)、風俗研究家・岩田準一と出会います。鳥羽での若き乱歩を紹介する江戸川乱歩館は2021年10月の火災を受けて主たる母屋が全焼しましたが、今年4月にリニューアルオープンを迎えました。今回、鳥羽商工会議所の取り組みを通じて鳥羽と乱歩のあゆみをお聞きます。

参加費 **会員 900円** **ビジター 1,400円**

講師 **清水 清嗣** 鳥羽商工会議所専務理事



**10月31日(火) 13:30～15:00** **企画講座**

## 聖地巡礼 ～京都の神社④ 三宅八幡神社～

三宅八幡神社は京都の左京区にあります。虫八幡ともいわれる訳は、かつては田んぼの虫封じの祈祷から始まり、次第に様々な虫封じへ変化したもので特に子供の疳の虫、夜泣き、病気全般などに御利益があるとされています。子供の死亡率が高かった時代、神仏にすがる他はなかった民衆はその願いをたくさんの絵馬を奉納することで叶えようとした。その絵馬は133点、そのうちの124点が国の重要な有形民俗文化財に指定されています。三宅八幡神社は推古天皇の時代に小野妹子が建立したと伝わっていますが、一体何のために建立したのでしょうか? お話しが楽しみです。

参加費 **会員 1,200円** **ビジター 1,700円**

場所 **西山 克** 京都教育大学名誉教授

**11月7日(火) 13:30～15:00** **企画講座**

## 三重県のめん文化 ～めん業界で取り組んだ伊勢うどん～

三重県伊勢市で生まれた伊勢うどん。今回は、伊勢うどんを通して「日本のめん文化」を語っていただきます。堀理事長は製麺所に生まれて63年、めんをこよなく愛されている方です。未来に伊勢うどんを繋げていくため、子供たちから大人まで手打ちうどん作りの指導やめんの魅力について多くのイベントを通して伝えています。未来に繋ぐことを使命にめん業界の発展や、世界に「日本のめん文化」を知ってもらいたいという大きな夢を込めた講座です。

参加費 **会員 1,000円** **ビジター 1,500円**

講師 **堀 哲次** 三重県製麺協同組合理事長



**11月14日(火) 13:30～15:00** **企画講座**

## 伊勢の中世文書を読む

中世の後期、室町時代から戦国時代にかけての伊勢には、興味深い歴史が数多くあります。古代以来、伊勢の地に鎮座する神宮はもちろんですが、人々の参宮を支えた伊勢御師も、伊勢の歴史・文化を考えるうえで欠くことのできない存在です。また、南北朝時代以降、南伊勢半国を領した伊勢国司北畠氏も、当地に大きな影響を残しました。今回の講座では、それらに関係する多くの史料のなかから、いくつかを取り上げて解説していただきます。

参加費 **会員 950円** **ビジター 1,450円**

講師 **小林 秀** 三重県総合博物館学芸員



**11月15日(水) 13:30～15:00** **企画講座**

## クレソンでむらづくり奮闘記

飯高町波瀬地区は奈良県との県境の山深い里です。過疎化にあるこの地区の活性化の取り組みの一つとして、天然水を使ったクレソンを栽培し、「クレソンづくし」のコース料理をレストラン「はぜの風」で提供している北川京子さん。メディアにも今注目されています。今回はそのクレソンを使ったデザートをいただきますが、北川さんをはじめ「波瀬むらづくり協議会」の様々な取り組みや移住された方からも波瀬の魅力について伺います。

参加費 **会員 1,300円** **ビジター 1,800円** (試食代含む)

講師 **北川 京子** 波瀬むらづくり協議会生産部長



**11月17日(金) 18:30～20:00** **オンライン同時中継**

## 日本の神話⑥ ～古事記を中心として～

出雲の国を治めるようになった大国主神に力強い味方が現れます。その名は少名毘古那神といい、ガガイモの船に乗り海から現れたとても小さな神です。二柱の神は協力して、豊葦原中国は見事に国になりました。これを天上から見ていた天照大神は「この国は私の子孫が治めるべき国である」といったかどうかは知りませんが、とにかく様々な神を遣わして国を譲るように交渉しますがうまくゆきません。すったもんだの挙句(これがいろいろと面白いエピソードがあります)、結局大国主神は出雲に立派な御殿を建ててくれればそこに鎮座するということになったのです。真相はどうだったのでしょうか。山中先生のお話が待たれます。

参加費 **会員 900円** **ビジター 1,400円**

講師 **山中 一孝** 豆腐庵山中代表取締役

すくなびこなのみ

**11月27日(月) 13:30～15:30** **体験講座**

## はじめての花結び～菊結びの詞梨勒掛け香袋～

詞梨勒はインド原産の植物で実が諸病を治す薬として重宝され、室町時代に実を袋に入れ魔除けとして柱に飾ったのが始まりといわれています。今回は、詞梨勒の実を香袋に入れ、菊結びとつ結びで飾り掛け香袋をつくります。菊結びは、通常の結び方と形が崩れにくい結びの二種類の菊結びを学びます。一つでも華やかな結びなので是非覚えていろいろ結んでみましょう。※筆記用具、ハサミ、ピンセット、縫い糸、縫い針、まち針(2本)を必ずお持ちください。※材料準備の都合により、11/17に申込みを締め切りますのでお早めにお申し込みください。

参加費 **会員 2,400円** **ビジター 2,900円** (材料費含む)

講師 **川本 美香子** 日本結び文化学会会員



**11月29日(水) 18:30～20:30** **企画講座**

## 秋の星見とプラネタリウム紀行

秋の星空には、秋の大三角やカシオペアなどの有名な星座が見えています。さらに今年は土星と木星が見えています。晴れたらレーザーで秋の星座をたどったり、望遠鏡で木星や土星をご覧いただきたいと思います。2023年10月21日近代プラネタリウムが始まってから100年となり、世界的な100周年のイベントが始まりました。ドイツで行われた記念式典や特別展示の様子をご紹介します。海外のプラネタリウムについてお話しします。

参加費 **会員 1,200円** **ビジター 1,700円**

講師 **毛利 勝廣** 名古屋市科学館学芸課天文主幹・学術博士



五十鈴茶屋製の和菓子付き

**10月4日(水) 13:30～15:00** **企画講座**

## 伊勢志摩国立公園の海と生きる

海水温の上昇や藻場の消失が叫ばれる昨今、伊勢志摩特産の鮑の漁獲はほぼゼロとなり、また伊勢海老の漁獲も1/10になるという海の現状です。自然が育んだ海の恵みを護るといことは、海の営みがいかにうまく続くかその方法を探ることです。私たちを取り巻く食の環境を自ずと変えていかなければなりません。美食と地政学に基づいて自然との新しい付き合い方のお話を未利用魚のフライを試食しながら伺います。

参加費 **会員 1,600円** **ビジター 2,100円** (試食代含む)

講師 **石川 隆将** 有限会社伊勢志摩冷凍 代表取締役社長



**10月23日(月) 13:30～15:00** **企画講座**

## 家伝資料にみる伊勢御師 ～橋村一族の歴史と実態～

伊勢信仰を全国に広め、長く人々の参宮を先導してきた伊勢御師。戦国時代から江戸時代にかけて活動をみせた彼らの実態は、今に残る多くの歴史文献から読み解くことができます。特に御師の家伝資料は、彼らの経営体制を知るうえで貴重です。近年、外宮御師橋村家に伝来した、1万点以上に及ぶ資料群の存在が明らかとなりました。本講座では、現在整理中の橋村家伝来資料から御師研究の最先端をご紹介します。伊勢御師の実像に迫ります。

参加費 **会員 900円** **ビジター 1,400円**

講師 **小林 郁** 皇学館大学佐川記念神道博物館学芸員・助教

**9月27日(水)・10月25日(水)・11月22日(水) 10:00～12:00** **企画講座**

参加費 (各回) **会員 1,600円** **ビジター 2,100円**

講師 **石井 いさお** 煌星俳句会主宰